（博士前期課程）

総合社会システム専攻

人　間　科　学　専　攻

国 際 言 語 文 化 専 攻

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【博士前期課程】

総合社会システム専攻

総合社会システム専攻は，法学，経済学，経営学，政策科学の領域に属する社会の様々な問題に対する強い興味と関心を抱き，自らその問題の解明に向かって研究し，その研究の過程で培われた能力を実社会の中で発揮していく人を求めています。また現在，それぞれの分野で活躍し，その職業遂行の中で発見した課題を追求するために本専攻で勉学しようとする向学心を持つ社会人も，おおいに歓迎しています。

人間科学専攻

人間科学専攻は，人間行動，人間社会，歴史学・人類学，島嶼研究，臨床心理学等の諸科学に強い興味と関心を抱き，人間関係の複雑化や価値観の多様化，グローバルな社会変動，環境問題等の諸現象に対する高度な分析と実践的判断を志向する人を求めています。また，研究職を含む高度専門職業人を目指す留学生や，キャリアアップを図る社会人も求めています。

国際言語文化専攻

国際言語文化専攻は，琉球アジア及び欧米の歴史・文学・言語，あるいは言語コミュニケーションの分野に強い関心を抱き，本専攻に属するところの専門科学の方法を身に付け，地域社会や国際社会において実践的に活動したいと願う人を求めています。また，キャリアアップを図り，異文化理解を深めたいと希望する社会人や留学生を積極的に受け入れます。

研　究　科　案　内（博士前期課程）

１．目　　的

本研究科は，人文社会科学の分野における専門職業人の育成並びに有職者の再教育を含む生涯教育を推進し，併せて沖縄の地理と歴史から見て，琉球大学において行うにふさわしい研究の発展に寄与することを目的とします。

上記目的達成のため，特に入試及び履修方法につき社会人向けの特別な制度を設けています。

２．組織と特徴

人文社会科学研究科（博士前期課程：定員 45 名）は，教育研究の充実と社会の要請にこれまで以上に適切に応えるために，法文学部の 3 学科を基盤にそれぞれに対応させて，「総合社会システム専攻」，「人間科学専攻」，「国際言語文化専攻」の 3 専攻体制で統合的・学際的な教育研究を行っています。

■**総合社会システム専攻（定員 17 名）：**実務法学，経済システム（経済学専修コース・政策評価実践コース），経営管理（経営学・税法・マーケティング）」，「政策科学」といった４つの専門領域の総合的・学際的な教育研究を通して，現代社会における法律，経済，経営，政策・国際関係等に関する諸問題を総合的に理解し，課題発見及び解決策の企画立案ができる高度な研究能力を備えた有為な人材の養成を行います。

■**人間科学専攻（定員 16 名（うち臨床心理学教育研究領域 5 名））：**人間行動（哲学・倫理学，教育学），人間社会（社会学，社会福祉学，マス・コミュニケーション），歴史学・人類学（日本史，東洋史，西洋史，社会人類学，民俗学，考古学），島嶼研究（島嶼地理学，島嶼環境学，島嶼経済学），臨床心理学等の諸科学を体系的，融合的に教育研究することにより，国際化，高度情報化等に伴って生じる人間関係の複雑化や価値観の多様化，少子高齢化，地球規模の環境破壊等の諸状況に柔軟に対応しうる，高度な社会的・文化的分析能力と実践的判断能力を有し，島嶼社会の持続的発展に寄与しうる高度専門職業人の養成を行います。

■**国際言語文化専攻（定員 12 名）：**東洋と西洋の言語，文学，歴史，文化，言語コミュニケーション等の諸学問分野を有機的に連携させた学際的な教育研究を行い，グローバルな視点で諸問題に取り組み解決する能力を有し，地域社会はもとより，国際社会でも活躍しうる高度専門職業人及び研究者の養成を行います。

３．標準修業年限　：　２年

４．履修方法

⑴　修士論文を選択する者にあっては，必修科目 8 単位，選択科目 14 単位以上，自由科目 8 単位以上合計 30 単位以上を，特定課題研究を選択する者にあっては，必修科目 8 単位，選択科目 18 単位以上，自由科目 10 単位以上合計 36 単位以上を修得しなければなりません。

ただし，政策科学，人間社会，歴史学・人類学，島嶼研究，琉球アジア文化，欧米文化，言語コミュニケーションの各教育研究領域においては学位論文による履修方法のみとします。また，経済システム教育研究領域政策評価実践コースにおいては，特定課題研究による履修方法のみとします。

さらに，臨床心理学教育研究領域においては，学位論文による履修方法のみとし，必修科目 28 単位，選択科目 10 単位以上，自由科目 2 単位以上合計 40 単位以上を修得しなければなりません。

⑵　社会人特別入試制度により入学した者（社会人）の履修上の便宜を図るための履修方法は以下によります。

① 通常の時間帯のほか，特例による授業時間帯をもうけ，2 年間の全期間にわたって，特例による授業時間帯において課程修了に必要な単位を履修できます。

② 特例による授業時間帯は，原則として夜間の第 6，7 時限（18 時～21 時 10 分）に設定する。場合によっては，土曜日及び特定の時期に設定することもあります。

⑶ 社会人学生以外の一般学生で，指導教員が必要と認めたものについては，上記特例に基づいて開講される授業科目を履修し，課程修了に必要な単位に含めることができます。

５．長期履修制度について

職業を有している等の事情により，標準修業年限で修了することが困難である学生を対象に，標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修させて学位の取得ができるようにする制度です。申請に基づき，研究科が審査し，最長 4 年間の修業年限で在学し，計画的に課程を修了することになります。

なお，長期履修学生として認められた期間の授業料は，標準修業年限の 2 年間（4 学期）の総額を在学期間で除した額を分割して支払うことになります。

本制度を希望する学生は，事前に希望指導教員に長期履修の必要性を説明し，履修計画を相談した後，承諾を得て**入学手続期間内に申請**してください。

６．個人情報の取扱い

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報については，入学者選抜で利用するほか，次のとおり利用します。

⑴ 合格者の氏名等を入学手続きに関わる業務で利用します。

⑵ 入学手続者の氏名等を入学後の学籍管理など，修学に係わる業務で利用します。

⑶ 入学手続者及び学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入金管理に係わる業務で利用します。

⑷ 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を，入学料免除・授業料免除及び奨学生選考など，修学支援に係わる業務で利用します。

⑸ 個人が特定できないように統計処理したデータを，入学者選抜に関する調査・研究などに利用します。

＊ 本学が取得した個人情報は，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第 9 条に規定されている場合を除き，出願者の同意を得ることなく他の目的で利用，又は第三者に提供することはありません。

平成31年度琉球大学大学院人文社会科学研究科
（博士前期課程）学生募集要項

１．募集人員

専攻名	１０月募集	３月募集
総合社会システム専攻 １７名	１０名 （社会人及び外国人留学生を含む）	７名 （社会人及び外国人留学生を含む）
人間科学専攻 １６名 うち臨床心理学教育研究領域5 名	８名 うち臨床心理学教育研究領域3 名 （社会人及び外国人留学生を含む）	８名 うち臨床心理学教育研究領域2 名 （社会人及び外国人留学生を含む）
国際言語文化専攻 １２名	７名 （社会人及び外国人留学生を含む）	５名 （社会人及び外国人留学生を含む）

《注》　志願者は、１０月募集及び3 月募集のいずれか、又は両方を受験することができます。

２．出願資格（１０月募集及び３月募集）

《A．一般選抜》

一般選抜の入学試験を受けられるのは，次の各号のいずれかに該当する者とします。

⑴　大学を卒業した者又は平成31年3月までに卒業見込みの者

⑵　学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者（大学評価・学位授与機構から学位を授与された者を含む）又は平成31年3月までに学士の学位を授与される見込みの者

⑶　外国において，学校教育における16年の課程を修了した者又は平成31年3月までに修了見込みの者

⑷　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は平成31年3月までに修了見込の者

⑸　我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は平成31年3月までに修了見込みの者

⑹　専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者

⑺　文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省令告示第5号）

⑻　「大学に3年以上在学した者」**（※1,** 4ページ3(1)参照**）**，又は「外国において学校教育における15年の課程を修了した者」**（※2,** 4ページ3(1)参照）で，所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本大学院において認めた者

⑼　学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって，本大学院において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

⑽　本大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，22歳に達したもの又は平成31年3月31日までに22歳に達するもの（5ページ3(2)参照）

《B．社会人特別選抜》

社会人特別選抜の入学試験を受けられるのは，一般選抜の出願資格のいずれかの資格を取得してから，大学院入学までに3年以上社会人としての経験を有する者とします。

《C．外国人留学生特別選抜》

外国人留学生特別選抜の入学試験を受けられるのは，次の各号のすべてに該当する者とします。

⑴　日本の国籍を有しない者
⑵　次のいずれかの要件をみたす者
①　外国において学校教育における16年の課程を修了した者（平成31年3月までに修了する見込みの者を含む）又は当該国の教育官庁が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
②　外国において学校教育における15年の課程を修了した者で，日本国内又は国外の大学又は国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において，研究生，研究員，科目等履修生等として，大学院入学までにおおむね1年以上研究に従事した者（その見込みの者を含む）
⑶　「出入国管理及び難民認定法」における「留学」の在留資格を有する者又は入学後に在留資格を「留学」に変更できる者
⑷　修学に必要な日本語の能力を有する者

3．出願資格の認定について（１０月募集及び３月募集）

（1）次の出願資格に該当する者は、次の条件を満たす者とする。

事　項	出　願　資　格 A. 一般選抜（8） 「大学に３年以上在学した者」（※1）	出　願　資　格 A. 一般選抜（8） 「外国において学校教育における１５年の課程を修了した者」（※2）
①在学期間について	平成31年3月末において，大学在学期間が3年間に達すること。 (休学期間は，在学期間に含めない)。	平成31年3月末において，15年の課程を修了していること。
②学業成績について	出願時点において，修得する必要のある科目の全てを修得し，80点以上の修得単位が4/5以上であること。 なお，入学試験に合格した後，平成31年3月末までに，3年次までに修得する必要のある必修科目の全部を修得し，修得した選択科目を含め卒業要件単位数の4/5以上の単位を修得し，80点以上の修得単位が4/5以上得られないことが確定した場合，入学を許可しません。	次の一つに該当すること。 a　出願時点において，修得する必要のある科目の全てを修得し，80点以上の修得単位が4/5以上であること。 なお，入学試験に合格した後，大学修了時に80点以上の修得単位が4/5以上得られないことが確定した場合，入学を許可しません。 b　15年の課程を修了した者で，日本国内又は国外の大学若しくは国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において，研究生，研究員等として相当期間（おおむね1年以上とする。）研究に従事しており，平成31年3月31日までに22歳に達するもの。
③出願手続	本募集要項に記載している書類の他に次のものを提出してください。 a　在学証明書 （卒業見込証明書は不要） b　学生便覧又は履修手引き （授業内容一覧が記載されたもの）	本募集要項に記載している書類の他に，平成31年3月までに修了見込みの者は，次のものを提出してください。 a 在学証明書（卒業見込証明書は不要） b 学生便覧又は履修手引き （授業内容一覧が記載されたもの）
④注意事項	本出願資格により入学した場合，大学を卒業したものとは認められません。したがって，大学の学部を卒業していることを要件と定められている種々の国家試験等の資格試験は，受験できない場合がありますのでご留意ください。	—

(2) 出願資格A.一般選抜（１０：個別入学資格審査）に該当する者

事　項	摘　　要
該当者	主に短期大学，高等専門学校，専修学校の卒業者など，大学の卒業資格を有していない者
事前審査の出願手続き	出願に先立って，指定の期日までに次の書類を提出すること。 10月試験：平成30年8月8日（水） 3月試験：平成31年1月16日（水） ただし，持参する場合は土・日曜日及び祝日を除く ①　入学資格個別審査申請書（本学所定の用紙） ②　出願理由書（本学所定の用紙） ③　経歴書（本学所定の用紙） ④　最終学校の成績証明書 ⑤　最終学校の卒業（修了）証明書又は在籍証明書 ⑥　返信用封筒 返信先を明記し，362円分の切手を貼った返信用封筒（長形3号）

４．出願手続

(1) 出願期間

10月募集：平成30年8月14日（火）～8月22日（水）までに必着

3月募集：平成31年2月1日（金）～2月8日（金）までに必着

(2) 出願方法　：　出願書類を「書留速達」で所定の期間内に郵送してください。

(3) 出願書類請求及び提出先　：琉球大学人文社会学部学務係

〒 903－0213　沖縄県中頭郡西原町字千原１番地

電　話：098－895－8188　　ＦＡＸ：098－895－8187

◎出願書類を郵便で請求するときは「大学院出願書類」と朱書した返信用封筒（角２号）を同封し，380円分の切手（普通）か760円分の切手（速達）を貼付してください。

(4) 注意事項

(1)　出願後は，いかなる理由があっても出願事項の変更は認めません。

(2)　本研究科の選抜方法に関して照会する場合は，上記(3)に問い合わせてください。

(3)　記載事項に虚偽の記入をした者は，入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

５．受験・修学上の特別措置

本研究科に入学を志願する者で，身体障がい（学校教育法施行令第２２条の３に定める程度の障がい）又は発達障がい（発達障害者支援法第２条第１項に定める程度の障がい）を有する者，その他疾病・負傷等により受験上又は修学上の特別措置を必要とする者は，あらかじめ人文社会学部学務係に申し出てください。

なお，**特別措置の内容によっては対応に時間を要する場合がありますので，できる限り早めに申し出てください。**

また，上記申し出に基づき書面による相談が必要となった場合は，以下によってください。

①相談の時期：１０月募集　平成30年 8月3日（金）まで

３月募集　平成30年12月14日（金）まで

②相談の方法：別添様式による相談申請書（健康診断書等添付）を提出することとし，必要な場合は，本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行ないます。

6．出願書類（10 月募集及び 3 月募集）

出願書類等	適　　要	一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜
①入学志願票	「本学所定の用紙」に必要事項を記入	○	○	○
②受験票・写真票	「本学所定の用紙」に必要事項を記入し，写真は，出願前 3 か月以内に撮影した正面上半身無帽のもの （縦 4 ㎝×横 3 ㎝） を貼付	○	○	○
③卒業（見込）証明書	出身大学の学長 （学部長） 又は出身学校長が作成したもの	○	○	○
④成績証明書	出身大学等の学部長（学長等） が作成し，厳封したもの	○	○	○
⑤研究計画概要	「本学所定の用紙」を用いること。 志望する教育研究領域に属する専門科目に即したテーマによること	○ ※注意事項オ	○ ※注意事項オ	○
⑥業績報告書	卒業論文，研究報告書，学術論文の業績を有する者のみ， その概要を「本学所定の用紙」にまとめて提出すること	※注意事項エ	該当者	※注意事項エ
⑦受験承諾書	官公庁・会社等に在職のまま，本学大学院に入学しようとする者のみ，本学所定の用紙により提出	該当者	該当者	該当者
⑧日本語力調査書	「本学所定の用紙」を用いること			○
⑨「住民票」の写し及びパスポートの写し	現に日本国に在住している外国人は市区町村長発行の記載事項の内容が省略されていないもので，出願前 1 か月以内に交付されたもの	該当者		○
⑩検定料納付証明書（大学用）	入学検定料の振り込みについては 「7．検定料振込等について」 を参照	○	○	○
⑪志願者整理票	「本学所定の用紙」に必要事項を記入すること	○	○	○
⑫受験票等送付用封筒	「本学所定の用紙」に 362 円分の切手を貼付 宛名に「郵便番号，住所，氏名」を明記	○	○	○

※ 注意事項		
	10 月募集	ア．外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者は，最終学校の成績証明書及び卒業（修了）証明書を添付すること。 イ．外国語の証明書には日本語の訳文をつけること。 ウ．入学検定料は，日本政府（文部科学省）奨学金による外国人留学生については，必要としない。この場合，国費の留学生であることの証明書を添付すること。 エ．歴史学・人類学教育研究領域を一般選抜，外国人留学生特別選抜で志願する者で，出願時までに研究・卒業論文など実績を有する者は，日本語で記述した業績報告書を提出すること。 オ．経済システム教育研究領域で研究レポートを提出した者は，「研究計画概要」を提出する必要はありません。
	3 月募集	ア～オ　は 10 月募集と共通 カ．総合社会システム専攻各教育研究領域（実務法学・経済システム・政策科学）を志望する場合は、面接の参考資料として，「卒業論文」ないしそれに準ずる論文等を提出することができます《コピー可》。

7．検定料振込等について

⑴　検定料 30,000 円（別添「検定料振込書」を使用してください。）

検定料振込期間

⑵　振込期間

10 月募集：平成 30 年 8 月 7 日（火）～8 月 22 日（水）

3 月募集：平成 31 年 1 月 25 日（金）～2 月 8 日（金）

⑶　振込方法

ア．検定料振込書の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。

《依頼日，入学志願者氏名（フリガナ），住所，電話番号，振込先（枠内に○印）》

イ．必ず金融機関（銀行等）の窓口で振り込み，ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。

ウ．振込手数料については，志願者本人負担となります。

エ．金融機関窓口から「検定料納付証明書（大学用）」を受け取る際は，取扱金融機関収納印を確認してください。

オ．「検定料納付証明書（大学用）」は**出願書類に同封して提出**してください。

※この募集要項添付の「検定料振込書」が使用できない場合は，各金融機関備付の振込依頼書で振り込んでください。

振込依頼人氏名は，先に募集区分（人文社会科学研究科博士前期課程は 411），次に志願者本人氏名としてください。

例　411　ダイガク　タロウ

振込先口座，金額及び募集区分は「検定料振込書」で確認してください。

受領書の写しを「検定料納付証明書（大学用）」の代わりに提出してください。

【外国からの銀行振込の場合】

検定料の振込先をお知らせします。**外国から振り込む際は円建てで振り込ませてください。**

※なお，外国送付にかかる一切の手数料（振込手数料，経由銀行手数料等）は振込人本人の負担とします。

受取人　大学名　University of the Ryukyus
住　所　1 Senbaru, Nishihara　Okinawa, Japan
銀行名　Bank of the Ryukyus
Branch Office:（支店名）:Ginowan
Account No:（口座番号）:428711
SWIFT コード：RYUBJPJZ
住　　所：1-5-3 Ginowan, Ginowan Okinawa, Japan
電話番号：(098)893-2231

《留意事項》

ア．検定料が振り込まれていない場合，「検定料納付証明書（大学用）」が出願書類に同封されていない場合，「検定料納付証明書（大学用）」に取扱金融機関収納印がない場合は，出願書類を受理しません。

イ．既納の検定料は次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。

①検定料を振り込んだものの，出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま出願期間が終了したり，書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）

②誤って検定料を二重に振り込んだ場合

③特例措置対象者が検定料を振り込んだ場合

※上記①，②に該当する場合は，本募集要項添付の「返還金払戻請求書」に必要事項を記入し，払い戻し理由を選択，氏名欄へ**押印**のうえ，「検定料納付証明書（大学用）」を同封して下記へ送付してください。

※封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください。

※返還は銀行振込で行います。本人以外名義口座の場合は必ず続柄も明記してください。ゆうちょ銀行口座を指定する場合は，振込用の店名・店番・預金種目・口座番号を明記してください。返還には請求書受理後 2～3 ヶ月程度かかります。

送付期限：平成 31 年 3 月 29 日（金）
送付先：〒903－0213　沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地
琉球大学財務部経理課収入・支出係 TEL098－895－8058

※上記③に該当する場合は返還手続（東日本大震災及び熊本地震により被災した平成 31 年度琉球大学入学者選抜試験志願者の検定料に関する特例措置について参照）を行ってください。

８．選抜方法及び試験科目（10 月募集及び 3 月募集）

Ａ．一般選抜

筆記試験（試験科目は，11 ページ～16 ページ（別掲）試験科目等のとおり），面接，成績証明書等の各結果を総合して判断します。

Ｂ．社会人特別選抜

筆記試験（試験科目は，11 ページ～16 ページ（別掲）試験科目等のとおり），面接，成績証明書等の各結果を総合して判断します。

Ｃ．外国人留学生特別選抜

筆記試験（試験科目は，11 ページ～16 ページ（別掲）試験科目等のとおり），面接，成績証明書等の各結果を総合して判断します。

＊　面接では，志望する教育研究領域に関する専門知識について聞くこともあります。

９．試験期日及び試験場

《１０月募集》

期　日	試験場	科　目	時　　間	摘　　要
平成３０年 ９月２９日 (土)	文系講義棟 {試験室は別途指定}	日本語共通試験	９：00～10：40	外国人留学生特別選抜の受験者のみ
		外国語科目	９：00～10：40	一般選抜の受験者のみ
		専門科目	11：10～12:50	全　員 ○経済システム教育研究領域を研究レポートで受験する者については，専門科目の時間に研究レポートについての面接を行います。
		面　　接	14：30～	全　員 ○ただし，経済システム教育研究領域を研究レポートで受験する者は除く。 ○実務法学教育研究領域を研究レポートで受験する者については，面接時に口頭試問を行います。

《注 1》　10 月渡日の国費研究留学生については，3 月募集に入学試験を実施します。
《注 2》　筆記試験の解答にはシャープペンシル・鉛筆のみ使用可能とし，ボールペンは使用不可とします。
《注 3》　欧米文化教育研究領域及び言語コミュニケーション教育研究領域を除く外国語科目は，「辞書」を貸与します。
《注 4》　実務法学教育研究領域の専門科目は，「小六法」を貸与します。
《注 5》　10 月募集については，台風に備え，10 月 13 日（土）を予備日とします。

《３月募集》

期　日	試験場	科　目	時　　間	摘　　要
平成３１年 ３月２日 (土)	文系講義棟 {試験室は別途指定}	日本語共通試験	９：00～10：40	外国人留学生特別選抜の受験者のみ
		外国語科目	９：00～10：40	一般選抜の受験者のみ
		専門科目	11：10～12:50	全　員 ○実務法学教育研究領域を研究レポートで受験する者については，専門科目の時間に口頭試問と面接を行います。 ○経済システム教育研究領域を研究レポートで受験する者については，専門科目の時間に研究レポートについての面接を行います。
		面　　接	14：30～	全　員 ○ただし，実務法学教育研究領域及び経済システム教育研究領域を研究レポートで受験する者は除きます。 ○政策科学教育研究領域は，面接時に研究論文の内容についての口頭試問を行います。

《注 1》　10 月渡日の国費研究留学生については，3 月募集に入学試験を実施します。
《注 2》　筆記試験の解答にはシャープペンシル･鉛筆のみ使用可能とし，ボールペンは使用不可とします。
《注 3》　欧米文化教育研究領域及び言語コミュニケーション教育研究領域を除く外国語科目は，「辞書」を貸与します。

10. 合格発表

午後 4 時に本学文系総合研究棟に掲示・合格者へ通知します。

⑴ 10 月募集 ： 平成 30 年 10 月 17 日（水）

⑵ 3 月募集 ： 平成 31 年 3 月 14 日（木）

11. 入学手続（10 月募集及び 3 月募集）

入学手続期間 ： 平成 31 年 3 月 26 日（火）～3 月 27 日（水）

〈外国人留学生は，平成 31 年 3 月 22 日（金）～3 月 27 日（水）〉

入学手続については，合格者あて別途通知します。

12. 入学料及び授業料

入学料は銀行振込です。詳細は合格者あて別途通知します。

入　学　料	282,000 円（予定額）
授業料（前期分）	267,900 円（予定額）
（年　額）	535,800 円（予定額）

（注）① 上記については予定額であり，入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は，改定時から新たな金額が適用されます。

② 授業料の納入については，本人の申し出により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入することができます。

③ 入学料の免除又は徴収猶予あるいは，授業料の免除を希望する者（対象者については，合格者に送付する「入学者心得」で詳しく説明します。）は所定の免除申請手続きを行うことにより，免除の可否が決定されるまでの間，入学料又は授業料の納付が猶予されます。

（別　掲）

15. 試験科目等　　《１０月募集》

専攻	教育研究領域	試験科目			
		専門科目		外国語科目	日本語共通試験
総合社会システム専攻	実務⇒学	行政法 刑法 国際法 社会保障法	A　一般選抜 （1科目選択） B　社会人特別選抜 （1科目選択） ※ 専門科目に代えて，研究レポートを提出することができる　（注3参照）。 C　外国人留学生特別選抜 （1科目選択）	A　一般選抜 （1科目選択） 英　語，独　語 仏　語，中国語 韓国語，日本語 ※ 外国人受験者も上記外国語科目の中から1科目選択すること。	C　外国人留学生特別選抜
	経済システム	理論経済学 金融論 財政学 計量経済学 国際経済学 環境経済学	A　一般選抜 （1科目選択） ※ 専門科目に代えて，研究レポートを提出することができる（注3参照）。 B　社会人特別選抜 （1科目選択） ※ 専門科目に代えて，研究レポートを提出することができる（注3参照）。 C　外国人留学生特別選抜 （1科目選択）	A　一般選抜 （1科目選択） 英　語，独　語 仏　語，中国語， 韓国語，日本語 ※ 外国人受験者も上記外国語科目の中から1科目選択すること。	C　外国人留学生特別選抜
	経営管理	経営学 税法 マーケティング	A　一般選抜 （1科目選択） B　社会人特別選抜 （1科目選択） C　外国人留学生特別選抜 （1科目選択）	A　一般選抜 （1科目選択） 英　語，独　語 仏　語，中国語 韓国語，日本語 ※ 外国人受験者も上記外国語科目の中から1科目選択すること。	C　外国人留学生特別選抜
	政策科学	政治学 国際関係論	A　一般選抜 （1科目選択） B　社会人特別選抜 （1科目選択） C　外国人留学生特別選抜 （1科目選択）	A　一般選抜 （1科目選択） 英　語，独　語 仏　語，中国語 韓国語，日本語 ※ 外国人受験者も上記外国語科目の中から1科目選択すること。	C　外国人留学生特別選抜

注1　専門科目については，志望する教育研究領域の科目から各々の研究主題に近い科目を選択すること。
注2　「外国語」とは母語以外の言語を指します。
注3　実務法学及び経済システム教育研究領域の「研究レポート」とは，研究科入学後の主たる研究テーマについて，その目的（動機）と内容をまとめたものをいう。研究レポートは，マイクロソフトWordなどのワープロソフトを用いてA4サイズの用紙（1行40字，36行の横書き）6～8枚にまとめる。但し，図及び表は別途に扱うものとします。なお，郵送の場合は，必ず書留又は簡易書留とし，**平成30年8月22日（水）**必着とします。

（別　掲）

15. 試験科目等

《１０月募集》

専攻	教育研究領域	試験科目			
		専門科目		外国語科目	日本語共通試験
人間科学専攻	人間行動	哲学・倫理学 教育学	A　一般選抜 （1科目選択） B　社会人特別選抜 （1科目選択） C　外国人留学生特別選抜 （1科目選択）	A　一般選抜 （1科目選択） 英語，独語 仏語，中国語 韓国語，日本語 ※　外国人受験者も上記外国語科目の中から1科目選択すること。	C　外国人留学生特別選抜
	人間社会	社会学 家族社会学 国際社会学 社会福祉学 マスコミ学	A　一般選抜 （1科目選択） B　社会人特別選抜 （1科目選択） C　外国人留学生特別選抜 （1科目選択）	A　一般選抜 （1科目選択） 英語，独語 仏語，中国語 韓国語，日本語 ※　外国人受験者も上記外国語科目の中から1科目選択すること。	C　外国人留学生特別選抜
	歴史学・人類学	日本史 東洋史 西洋史 社会人類学 考古学 民俗学	A　一般選抜 （1科目選択） B　社会人特別選抜 （1科目選択） C　外国人留学生特別選抜 （1科目選択）	A　一般選抜 （1科目選択） 英語，独語 仏語，中国語 韓国語，日本語 ※ 外国人受験者は「日本語」を選択すること。	C　外国人留学生特別選抜
	島嶼研究	島嶼地理学 島嶼環境学	A　一般選抜 （1科目選択） B　社会人特別選抜 （1科目選択） C　外国人留学生特別選抜 （1科目選択）	A　一般選抜 （1科目選択） 英語，独語 仏語，スペイン語 中国語，韓国語 日本語 ※　外国人受験者も上記外国語科目の中から1科目選択すること。	C　外国人留学生特別選抜
	臨床心理学	臨床心理学	A　一般選抜 B　社会人特別選抜 C　外国人留学生特別選抜	A　一般選抜 （1科目選択） 英語，独語 仏語，スペイン語 中国語，韓国語 日本語 ※　外国人受験者も上記外国語科目の中から1科目選択すること。	C　外国人留学生特別選抜

注1　専門科目については，志望する教育研究領域の科目から各々の研究主題に近い科目を選択すること。

注2　臨床心理学の専門科目には心理学一般の問題も含みます。

注3　「外国語」とは母語以外の言語を指します。

（別　掲）

15. 試験科目等

《１０月募集》

専攻	教育研究領域	試験科目			
		専門科目		外国語科目	日本語共通試験
国際言語文化専攻	琉球アジア文化	日本文学 沖縄文学 琉球史 琉球文学 日本語学 琉球語学 中国語学 琉球民俗学 朝鮮文学	A　一般選抜 （1科目選択） B　社会人特別選抜 （1科目選択） C　外国人留学生特別選抜 （1科目選択）	A　一般選抜 （1科目選択） 英語，独語 仏語，中国語 韓国語，日本語 ※ 外国人受験者は「日本語」を選択すること。	C　外国人留学生特別選抜
	欧米文化	イギリス文学 アメリカ文学	A　一般選抜 （1科目選択） B　社会人特別選抜 （1科目選択） C　外国人留学生特別選抜 （1科目選択）	A　一般選抜 （1科目選択） 英語，独語 仏語，日本語 ※ 外国人受験者は「日本語」を選択すること。	C　外国人留学生特別選抜
	言語コミュニケーション	コミュニケーション学 応用言語学・第二言語習得 英語教育 社会言語学・言語政策 英語学 言語学 日本語教育学	A　一般選抜 （1科目選択） B　社会人特別選抜 （1科目選択） C　外国人留学生特別選抜 （1科目選択）	A　一般選抜 （1科目選択） 英語，独語 仏語，スペイン語 日本語 ※ 外国人受験者は「日本語」を選択すること。	C　外国人留学生特別選抜

注1　専門科目については，志望する教育研究領域の科目から各々の研究主題に近い科目を選択すること。

注2　「外国語」とは母語以外の言語を指します。

（別　掲）

16. 試験科目等　　《3月募集》

専攻	教育研究領域	試験科目			
		専門科目		外国語科目	日本語共通試験
総合社会システム専攻	実務⇒学	行政法 刑法 国際法 社会保障法	A　一般選抜 （1科目選択） ※ 専門科目に関する研究レポートを提出する(注3参照)。 B　社会人特別選抜 （1科目選択） ※ 専門科目に関する研究レポートを提出する(注3参照)。 C　外国人留学生特別選抜　（1科目選択） ※ 専門科目に関する研究レポートを提出する(注3参照)。	A　一般選抜 （1科目選択） 英語，独語 仏語，中国語 韓国語，日本語 ※ 外国人受験者も上記外国語科目の中から1科目選択すること。	C　外国人留学生特別選抜
	経済システム	理論経済学 金融論 財政学 計量経済学 国際経済学 環境経済学	A　一般選抜 （1科目選択） ※ 専門科目に代えて，研究レポートを提出することができる(注3参照)。 B　社会人特別選抜 （1科目選択） ※ 専門科目に代えて，研究レポートを提出することができる(注3参照)。 C　外国人留学生特別選抜 （1科目選択）	A　一般選抜 （1科目選択） 英語，独語 仏語，中国語， 韓国語，日本語 ※ 外国人受験者も上記外国語科目の中から1科目選択すること。	C　外国人留学生特別選抜
	経営管理	経営学 税法 マーケティング	A　一般選抜 （1科目選択） B　社会人特別選抜 （1科目選択） C　外国人留学生特別選抜 （1科目選択）	A　一般選抜 （1科目選択） 英語，独語 仏語，中国語 韓国語，日本語 ※ 外国人受験者も上記外国語科目の中から1科目選択すること。	C　外国人留学生特別選抜
	政策科学	政治学 国際関係論	A　一般選抜 （1科目選択） ※ 専門科目に代えて，研究論文を選択することができる(注4参照)。 B　社会人特別選抜 （1科目選択） ※ 専門科目に代えて，研究論文を選択することができる(注4参照)。 C　外国人留学生特別選抜 （1科目選択） ※ 専門科目に代えて，研究論文を選択することができる(注4参照)。	A　一般選抜 （1科目選択） 英語，独語 仏語，中国語 韓国語，日本語 ※ 外国人受験者も上記外国語科目の中から1科目選択すること。	gatC　外国人留学生特別選抜

注1　専門科目については，志望する教育研究領域の科目から各々の研究主題に近い科目を選択すること。
注2　「外国語」とは母語以外の言語を指します。
注3　実務法学・経済システム教育研究領域の研究レポートとは，研究科入学後の主たる研究テーマについて，その目的（動機）と内容をまとめたものをいう。研究レポートは，マイクロソフトWordなどのワープロソフトを用いてA4サイズの用紙（1行40字，36行の横書き）6～8枚にまとめる。ただし，図及び表は別途に扱うものとします。なお，郵送の場合は，必ず書留又は簡易書留とし，**平成31年2月8日（金）**必着とします。
注4　政策科学教育研究領域の研究論文とは，大学において提出した卒業論文，又はそれに相当する論文等のことです。 研究論文の原本の複写を出願期間内（平成31年2月1日（金）～2月8日（金））に提出すること。提出された研究論文に対して面接時に口頭試問を行います。

（別　掲）

16. 試験科目等　　《3月募集》

専攻	教育研究領域	試験科目			
		専門科目		外国語科目	日本語共通試験
人間科学専攻	人間行動	哲学・倫理学 教育学	A　一般選抜 （1科目選択） B　社会人特別選抜 （1科目選択） C　外国人留学生特別選抜 （1科目選択）	A　一般選抜 （1科目選択） 英語，独語 仏語，中国語 韓国語，日本語 ※　外国人受験者も上記外国語科目の中から1科目選択すること。	C　外国人留学生特別選抜
	人間社会	社会学 家族社会学 国際社会学 社会福祉学 マスコミ学	A　一般選抜 （1科目選択） B　社会人特別選抜 （1科目選択） C　外国人留学生特別選抜 （1科目選択）	A　一般選抜 （1科目選択） 英語，独語 仏語，中国語 韓国語，日本語 ※　外国人受験者も上記外国語科目の中から1科目選択すること。	C　外国人留学生特別選抜
	歴史学・人類学	日本史 東洋史 西洋史 社会人類学 考古学 民俗学	A　一般選抜 （1科目選択） B　社会人特別選抜 （1科目選択） C　外国人留学生特別選抜 （1科目選択）	A　一般選抜 （1科目選択） 英語，独語 仏語，中国語 韓国語，日本語 ※ 外国人受験者は「日本語」を選択すること。	C　外国人留学生特別選抜
	島嶼研究	島嶼地理学 島嶼環境学	A　一般選抜 （1科目選択） ※「研究業績レポート」（注4参照） B　社会人特別選抜 （1科目選択） ※「研究業績レポート」（注4参照） C　外国人留学生特別選抜 （1科目選択） ※「研究業績レポート」（注4参照）	A　一般選抜 （1科目選択） 英語，独語 仏語，スペイン語 中国語，韓国語 日本語 ※　外国人受験者も上記外国語科目の中から1科目選択すること。	C　外国人留学生特別選抜
	臨床心理学	臨床心理学	A　一般選抜 B　社会人特別選抜 C　外国人留学生特別選抜	A　一般選抜 （1科目選択） 英語，独語 仏語，スペイン語 中国語，韓国語 日本語 ※　外国人受験者も上記外国語科目の中から1科目選択すること。	C　外国人留学生特別選抜

注1　専門科目については，志望する教育研究領域の科目から各々の研究主題に近い科目を選択すること。

注2　臨床心理学の専門科目には心理学一般の問題も含みます。

注3　「外国語」とは母語以外の言語を指します。

注4　島嶼教育研究領域は専門科目に代えて研究業績レポートを選択することができます。研究業績レポートは研究業績（卒業論文を含む）をA4サイズの用紙（1行40字×30行・横書・日本語又は英語）5枚程度に目的，方法，結果，考察等をまとめたものとします。なお，郵送の場合は必ず「書留」又は「簡易書留」とし，**平成31年2月8日（金）**必着とします。

（別　掲）

16. 試験科目等　　《3月募集》

専攻	教育研究領域	試験科目			
		専門科目		外国語科目	日本語共通試験
国際言語文化専攻	琉球アジア文化	日本文学 沖縄文学 琉球史 琉球文学 日本語学 琉球語学 中国語学 琉球民俗学 朝鮮文学	A　一般選抜 （1科目選択） B　社会人特別選抜 （1科目選択） C　外国人留学生特別選抜 （1科目選択）	A　一般選抜 （1科目選択） 英語，独語 仏語，中国語 韓国語，日本語 ※ 外国人受験者は「日本語」を選択すること。	C　外国人留学生特別選抜
	欧米文化	イギリス文学 アメリカ文学	A　一般選抜 （1科目選択） B　社会人特別選抜 （1科目選択） C　外国人留学生特別選抜 （1科目選択）	A　一般選抜 （1科目選択） 英語，独語 仏語，日本語 ※ 外国人受験者は「日本語」を選択すること。	C　外国人留学生特別選抜
	言語コミュニケーション	コミュニケーション学 応用言語学・第二言語習得 英語教育 社会言語学・言語政策 英語学 言語学 日本語教育学	A　一般選抜 （1科目選択） B　社会人特別選抜 （1科目選択） C　外国人留学生特別選抜 （1科目選択）	A　一般選抜 （1科目選択） 英語，独語 仏語，スペイン語 日本語 ※ 外国人受験者は「日本語」を選択すること。	C　外国人留学生特別選抜

注1　専門科目については，志望する教育研究領域の科目から各々の研究主題に近い科目を選択すること。
注2　「外国語」とは母語以外の言語を指します。

（博士前期課程）
１０月募集の出願書類所定用紙

下記の出願書類が添付されていますので，確認してください。

１．入学志願票
２．受験票（受験心得）
３．写真票
４．研究計画概要
５．業績報告書
６．受験承諾書
７．日本語力調査書
８．相談申請書
９．　入学資格個別審査申請書
10．出願理由書
11．経歴書
12．東日本大震災及び熊本地震により被災した志願者の検定料に関する特例措置について
13．検定料免除申請書
14．返還金払戻請求書
15．検定料振込書
16．志願者整理票
17．受験票等送付用封筒
18．出願書類提出用封筒

出願書類は，ミシン目から丁寧に切り離してください。

受験番号	※	一般，社会人 外国人留学生

平成31年度
琉球大学大学院人文社会科学研究科（博士前期課程）入学志願票（１０月募集）

フリガナ		国籍名 （外国籍を持つ者）	専攻
氏名			専攻
生年月日	昭和・平成　年　月　日（満　才）男・女 平成31年4月1日現在		教育研究領域
現住所	〒　－ 携帯電話： メールアドレス：		（経済システム領域については、志望コース）
※大学から緊急連絡がある場合の連絡先を記入する。上記と同じ場合は，記入しなくてもよい。	〒　－ ＴＥＬ　　メールアドレス：		
受験科目	専門科目	外国語科目	
本人以外連絡先	氏名 現住所　ＴＥＬ		志願者との続柄 （　）
出願資格	立　大学　学部　学科 昭和・平成　年　月卒業（卒業見込）		

履歴

学歴	年　月　日	
卒高業等以学上校	・　・　・	
	・　・　・	
	・　・　・	
	・　・　・	
	・　・　・	
	・　・　・	
職歴	・　・　・	
	・　・　・	
	・　・　・	

上記のとおり相違ありません。

平成　年　月　日　氏名　　㊞

備考　(1)　記入の際は，本募集要項熟読の上，記入漏れのないようにすること。
(2)　「一般，社会人，外国人留学生欄」（右上）は，該当する選抜に○をつけること。
(3)　※印欄は，記入しないこと。
(4)　黒のボールペンを使用し，楷書で書くこと。
(5)　経済システム教育研究領域を志願する者は，入学志願票の教育研究領域欄に「志望するコース（経済学専修コース・政策評価実践コース）」も，併せて記入すること。

平成31年度
琉球大学大学院
人文社会科学研究科
(博士前期課程)10月募集

写真票

受験番号	※	一般，社会人，外国人留学生	
フリガナ		性別	
氏名	昭和・平成　年　月　日生	男・女	
志望専攻	(経済システム領域は、コース記入)		
受験科目	専門科目	外国語科目	日本語共通

※出欠欄	

写真を貼る欄
○写真は，出願前3ヶ月以内に撮影した脱帽正面上半身(4㎝×3㎝)とします。 ○写真の裏に氏名を記入して貼付すること。

「一般，社会人，外国人留学生欄」(右上)は，該当する選抜に○をつけること。

(注) 経済システム教育研究領域を志願する者は，写真票の志望専攻欄に「志望するコース(経済学専修コース・政策評価実践コース)」も記入すること。

(注) ※印欄は，記入しないこと。

きりとらないこと

平成31年度
琉球大学大学院
人文社会科学研究科
(博士前期課程)10月募集

受験票

受験番号	※	一般，社会人，外国人留学生	
フリガナ		性別	
氏名	昭和・平成　年　月　日生	男・女	
志望専攻	(経済システム領域は、コース記入)		
受験科目	専門科目	外国語科目	日本語共通

写真を貼る欄
○写真は，出願前3ヶ月以内に撮影した脱帽正面上半身(4㎝×3㎝)とします。 ○写真の裏に氏名を記入して貼付すること。

「一般，社会人，外国人留学生欄」(右上)は，該当する選抜に○をつけること。

(注) 経済システム教育研究領域を志願する者は，受験票の志望専攻欄に「志望するコース(経済学専修コース・政策評価実践コース)」も記入すること。

(注) ※印欄は，記入しないこと。

受　験　心　得

(1)　受験者は，試験開始 20 分前までに，各試験室前に集合すること。
(2)　試験開始後30分以上遅刻した者は,受験できません。
(3)　不正行為のあった者は，直ちに退場を命じます。
(4)　受験に際しては，本受験票を必ず持参すること。

試験期日及び試験場（博士前期課程）１０月募集

期　日	科　目	時 間	場　所	摘　要
平成 30 年 9 月 29 日 （土）	日本語 共通試験	9：00 〜 10：40	文系講義棟	外国人留学生特別選抜の受験者のみ
	外国語科目	9：00 〜 10：40	〃	一般選抜の 受験者のみ
	専門科目	11：10 〜 12：50	〃	全　員 ○経済システム教育研究領域を研究レポートで受験する者については，専門科目の時間に研究レポートについての面接を行います。
	面　接	14：30 〜	〃	全　員 ○ただし，経済システム教育研究領域を研究レポートで受験する者は除きます。 ○実務法学教育研究領域を研究レポートで受験する者については，面接時に口頭試問を行います。

研 究 計 画 概 要 （博士前期課程）１ ０ 月 募 集

氏　　名		志願理由も含めて以下にまとめること。

琉球大学大学院人文社会科学研究科

＊この用紙を使用して作成すること。

プリンター等で印字する場合は文字の大きさを 10 ポイント以上で作成すること。

琉球大学大学院人文社会科学研究科

＊この用紙を使用して作成すること。

プリンター等で印字する場合は文字の大きさを 10 ポイント以上で作成すること。

業 績 報 告 書 （博士前期課程）１ ０ 月 募 集

氏　　名		論文名及びその概要を以下にまとめること。

琉球大学大学院人文社会科学研究科

＊この用紙を使用して作成すること。

プリンター等で印字する場合は文字の大きさを 10 ポイント以上で作成すること。

琉球大学大学院人文社会科学研究科

＊この用紙を使用して作成すること。

プリンター等で印字する場合は文字の大きさを 10 ポイント以上で作成すること。

受験承諾書（博士前期課程）１０月募集

平成　　年　　月　　日

琉球大学大学院人文社会科学研究科長　　殿

受験者の職名

氏名

上記の者が，貴大学院人文社会科学研究科を受験することを承諾します。

氏　　名　　印

本人との関係

事業所等名

現　住　所

電　話（　　）

日本語力調査書（博士前期課程）１０月募集

志願者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　生年月日（西暦）　　年　　月　　日

志願者住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

志願者の母国語＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＊該当する事項の番号を○印で囲む。

Ⅰ　聴　解　力

１．理解できない。

２．ゆっくりはっきり話せば理解できる。

３．まあまあ理解できる。

４．じゅうぶん理解できる。

Ⅱ　会　話　力

１．少しも話せない。

２．意志の伝達はできる。

３．ある程度話せる。

４．すらすら話せる。

Ⅲ　読　解　力

１．全く理解できない。

２．やや理解できる。

３．おおよそ理解できる。

４．じゅうぶん理解できる。

Ⅳ　作　　文

１．全く書けない。

２．やさしい文章は書ける。

３．まとまった文章が書ける。

４．論理的な文章が書ける。

Ⅴ　所見（大学の講義をうける能力等，総合的な評価）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

以上のとおり調査報告します。

平成　　年　　月　　日

調査者勤務先＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

調査者職名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

調査者氏名（自署）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

注　この調査書は，高等学校又は大学において日本語を教授している者，政府又は公共団体の責任ある職員にあって日本語を十分理解できる者，若しくは各国在日本大使館員職員によるものでなければなりません。

平成　　年　　月　　日

琉球大学大学院 人文社会科学研究科長　殿

相　談　申　請　書（10 月募集）

貴大学院人文社会科学研究科（博士前期課程）入学者選抜試験を
受験するに際して，下記のとおり相談を申請します。

記

１．志願者氏名（フリガナ）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

昭和・平成　　年　　月　　日生　　男・女

平成 31 年 4 月 1 日現在満　　歳

２．志望専攻：

３．出身学校名：

平成　　年　　月　　日　卒業・卒業見込

４．住所〒

電話（　　）　　―

５．障がいの程度：

６．受験上及び修学上希望する措置：

７．添付資料：診断書，身体障がい者手帳（写）

（出願資格個別審査用）

平成　　年　　月　　日

平成 31 年度　琉球大学大学院人文社会科学研究科［博士前期課程］入学資格個別審査申請書（10 月募集）

琉球大学大学院人文社会科学研究科長　　殿

私は，大学院入学資格の個別審査を受けたいので，申請します。

志望専攻・教育研究領域	専攻　　教育研究領域
フリガナ 氏名	印
フリガナ 現住所	〒　－ TEL（　　）　－
添付書類	①出願理由書（本学所定の用紙） ②経歴書（本学所定の用紙） ③最終学校の成績証明書 ④最終学校の卒業（修了）証明書又は在籍証明書 ⑤返信用封筒［長形３号，362 円切手貼付］

（出願資格個別審査用）

平成　　年　　月　　日

平成 31 年度　琉球大学大学院人文社会科学研究科［博士前期課程］
出　願　理　由　書　（10 月募集）

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

琉球大学大学院人文社会科学研究科［博士前期課程］＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿専攻への出願を下記理由により希望します。

記

※出願動機，入学後の研究計画等についての詳細を記載してください。

（出願資格個別審査用）

平成　　年　　月　　日

平成31年度　琉球大学大学院人文社会科学研究科［博士前期課程］
経　　歴　　書　（10月募集）

氏　　名　　印

性　　別　　男　・　女

生　年　月　日　昭和・平成　　年　　月　　日

最終学校（卒業・修了）年月

年　　月～　　年　　月	卒業・修了

上記卒業（修了）後の職歴（実務経験），学習歴及び活動歴がある場合は，年代順にその内容についても詳しく記入してください。

期間（　年　月～　年　月）	内　　容

東日本大震災及び熊本地震により被災した平成31年度琉球大学入学者選抜試験志願者の検定料に関する特例措置について（１０月募集）

琉球大学では，平成31年度大学院入学者選抜に関して，被災者の経済的負担を軽減することにより，受験の機会を確保するため，以下のとおり特例措置を実施することとしましたのでお知らせします。

１．特例措置の対象

平成31年度大学院入試

２．措置内容

検定料の免除：30,000円

３．免除の対象者及び必要書類

対　象　者	必 要 書 類
①　東日本大震災及び熊本地震における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で，以下のいずれかに該当する者	
ア　主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊，大規模半壊，半壊，流失した場合	り災証明書
イ　主たる家計支持者が死亡，又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
② 居住地が福島第一原子力発電所事故により，帰還困難区域，居住制限区域及び避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

４．申請の方法

入 試 区 分	申 請 方 法
○大学院入試	本学所定の様式（検定料免除申請書）に，り災証明書等を添えて，出願書類とともに同封のうえ提出してください。 なお，申請する場合は，「検定料」を振り込まないでください。 また，すでに納付した検定料の返還を希望する場合は，本学所定の様式（返還金払戻請求書）に，り災証明書等を添えて人文社会学部学務係へ申請してください。 申請後，検定料を返還します。

※ 返還金払戻請求書の提出期限は，平成31年3月29日（金）までとします。

提出先：〒903－0213 沖縄県中頭郡西原町字千原１番地

国立大学法人琉球大学　人文社会学部学務係

電話（０９８）８９５－８１８８

検定料免除申請書（10月募集）

平成　　年　　月　　日

国立大学法人
　琉球大学長　殿

（請求者）
受付番号（大学側で記入）
入学者選抜試験の種類
　■大学院入試
出願研究科　琉球大学大学院　人文社会科学研究科
出 願 専 攻　　専攻

フ リ ガ ナ
志願者氏名　　印

住　　所 〒

電　　話

平成２３年３月１１日に発生した東日本大震災及び平成２８年４月１４日に発生した熊本地震において，下記のとおり被災しましたので，り災証明書等を添付の上，検定料の免除を申請します。

記

被災状況（該当箇所にチェックしてください。）

□全壊　　□大規模半壊　　□半壊　　□流出
□学費負担者死亡又は行方不明
□福島第一原子力発電所事故による避難区域等

(記入上の注意)
この検定料免除申請書はコピーして使用してもかまいません。

平成　　年　　月　　日

返還金払戻請求書（10月試験）

国立大学法人
琉球大学長　　殿

請求者
〒
住　　所
フリガナ
氏　　名　　印
電話番号

私が平成　　年　　月　　日に納付した検定料　　円について，以下の理由により払い戻しを請求します。

1. 誤納
2. 出願辞退　※受験辞退ではなく、出願しなかった方が対象です。
3. 書類不備等による出願書類の不受理
4. 東日本大震災において被災
5. 熊本地震において被災
6. その他（　　）

次の銀行口座へ振り込んでください。

フリガナ			保護者名義の場合の続柄
口座名義			
取引金融機関名 本・支店名	銀　行	支　店	
預金種別	1　普　通　　2　当　座		
口座番号	（店　番）	－　（口座番号）	

預金種別欄は，該当項目番号を○で囲んでください。

［注意］
※ 請求者は志願者本人としてください。
※ 保護者等，請求者以外の口座名義を指定する場合は，続柄も記入してください。
※ ゆうちょ銀行口座へ振り込みを受ける場合は，振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が必要です。振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が分からない場合は口座を開設したゆうちょ銀行へご確認ください。
※ 封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください。
※ 返還には請求書受理後2～3ヶ月程度かかります。

送付先　〒903－0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
琉球大学財務部経理課収入・支出係
TEL：098－895－8058

取扱金融機関収納印が押印された
検定料納付証明書（大学用）
をこの枠内に貼り付けのうえ、ご提出ください。

※払戻理由のうち、4．東日本大震災または5．熊本地震において被災を選択された場合は貼り付け不要です。

※各金融機関備付の振込依頼書で振り込んだ場合は、受領書をご同封ください。

記入上の注意

○　**「検定料振込書」の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。《依頼日，入学志願者氏名（フリガナ），住所，電話番号，振込先(枠内に○印)》**
○　必ず金融機関（銀行等）の窓口で振り込み，ＡＴＭ（現金自動預払機）は使用しないでください。
○　振込手数料については，志願者本人負担となります。
○　金融機関窓口から「検定料納付証明書**（大学用）**」を受け取る際は，取扱金融機関収納印を確認してください。
○　「検定料納付証明書**（大学用）**」は**出願書類に同封して提出**してください。

検　定　料　振　込　書

※人文社会科学研究科　博士前期課程　１０月募集

（振込前に志願者で切離し）

検定料納付証明書 **（大学用）**

★出願書類に同封して提出ください。

※依頼日	年　月　日
金額	¥30,000－
※振込先（いずれかの銀行に○をする）	琉球銀行宜野湾支店（普通） 428711 沖縄銀行我如古支店（普通） 1540366 沖縄海邦銀行真栄原支店（普通） 0563358 みずほ銀行那覇支店（普通） 1478859
※依頼人（志願者） ※募集区分	411
（フリガナ）	
氏名	

平成31年度　琉球大学　検定料
人文社会科学研究科(博士前期課程)１０月募集

取扱金融機関収納印

（取扱店→振込人→大学）

（大学提出時に切離し）

振込金（兼手数料）領収書

※ 依頼日	年　月　日	手数料
振込金額	¥3000円	
※振込先（いずれかの銀行に○をする）	琉球銀行宜野湾支店（普通） 428711 沖縄銀行我如古支店（普通） 1540366 沖縄海邦銀行真栄原支店（普通） 0563358 みずほ銀行那覇支店（普通） 1478859	
受取人口座名	国立大学法人 琉球大学	
※依頼人（志願者） （フリガナ）		
氏名		

平成31年度　琉球大学　検定料
人文社会科学研究科(博士前期課程)１０月募集

上記のとおり領収しました。

取扱金融機関収納印

（取扱店→振込人）

取扱店へのお願い
○太枠内を打電してください。
○募集区分、フリガナの順に打電してください。

（振込時金融機関で切離し）

振　込　依　頼　書　電信扱

勘定科目	

※ 依頼日	年　月　日	振込指定	電信扱	手数料	
※振込先（いずれかの銀行に○をする）	琉球銀行宜野湾支店（普通）	428711		金額	¥3000円
	沖縄銀行我如古支店（普通）	1540366		内訳 現金	
	沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358			
	みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859			
受取口座名人	ｺｸﾘﾂﾀﾞｲｶﾞｸﾎｳｼﾞﾝ　ﾘｭｳｷｭｳﾀﾞｲｶﾞｸ 国立大学法人 琉球大学				
※依頼人（志願者） ※募集区分	411	※フリガナ			
	※　氏名				
	※（住所） （電話番号）				
備考	平成３１年度　琉球大学　検定料 人文社会科学研究科（博士前期課程）１０月募集 【納入期間】 平成３０年８月　７日（火）から 平成３０年８月２２日（水）まで				

取扱金融機関収納印

（取扱店用）

志 願 者 整 理 票 【博士前期課程】10 月募集

（注）この整理票は，シール式（太枠部分）になっているので，はがれないように取り扱うこと。

志願者氏名（　　）　楷書で枠からははみ出さないように記入してください。

受 験 番 号 （記入しないこと）	志 願 者 氏 名 （下にフリガナをつけること。）	性 別	出身学校が所在する都道府県又は国名	出身学校の名称 （下にフリガナをつけること。）
※				

合格通知書送付先（合格通知書送付先の郵便番号，住所，氏名を楷書で正確に取り扱うこと。団地の棟番号，戸番や下宿先の○○方なども必ず記入すること。）

（〒　　－　　）

住　所

氏　名　　殿

（受験番号※　　）

※　印欄は記入しないこと。

入学手続通知送付先

（〒　　－　　）

住　所

氏　名　　殿

（受験番号※　　）

※　印欄は記入しないこと。

（博士前期課程）
３月募集の出願書類所定用紙

下記の出願書類が添付されていますので，確認してください。

１．入学志願票
２．受験票（受験心得）
３．写真票
４．研究計画概要
５．業績報告書
６．受験承諾書
７．日本語力調査書
８．相談申請書
９．　入学資格個別審査申請書
10．出願理由書
11．経歴書
12．東日本大震災及び熊本地震により被災した志願者の検定料に関する特例措置について
13．検定料免除申請書
14．返還金払戻請求書
15．検定料振込書
16．志願者整理票
17．受験票等送付用封筒
18．出願書類提出用封筒

出願書類は，ミシン目から丁寧に切り離してください。

受験番号	※	一般，社会人 外国人留学生

平成31年度
琉球大学大学院人文社会科学研究科（博士前期課程）入学志願票（３月募集）

フリガナ		国籍名 （外国籍を持つ者）	専攻
氏名			専攻
生年月日	昭和・平成　年　月　日（満　才）男・女 平成31年4月1日現在		教育研究領域
現住所	〒　－ 携帯電話： メールアドレス：		（経済システム領域については、志望コース）
※大学から緊急連絡がある場合の連絡先を記入する。上記と同じ場合は，記入しなくてもよい。	〒　－ TEL　　メールアドレス：		
受験科目	専門科目	外国語科目	
本人以外連絡先	氏名 現住所　TEL		志願者との続柄 （　）
出願資格	立　大学　学部　学科 昭和・平成　年　月卒業（卒業見込）		

履歴

	年　月　日	
学歴		
卒高業等以学上校	・　・　・	
	・　・　・	
	・　・　・	
	・　・　・	
	・　・　・	
	・　・　・	
職歴	・　・　・	
	・　・　・	
	・　・　・	

上記のとおり相違ありません。

平成　年　月　日　氏名　　㊞

備考　(1)　記入の際は，本募集要項熟読の上，記入漏れのないようにすること。
(2)　「一般，社会人，外国人留学生欄」（右上）は，該当する選抜に○をつけること。
(3)　※印欄は，記入しないこと。
(4)　黒のボールペンを使用し，楷書で書くこと。
(5)　経済システム教育研究領域を志願する者は，入学志願票の教育研究領域欄に「志望するコース（経済学専修コース・政策評価実践コース）」も，併せて記入すること。

平成31年度
琉球大学大学院
人文社会科学研究科
（博士前期課程）3月募集

写真票

受験番号	※	一般，社会人 外国人留学生	
フリガナ		性別	
氏名	昭和・平成　年　月　日生	男・女	
志望専攻	（経済システム領域は、コース記入）		
受験科目	専門科目	外国語科目	日本語 共通

※出欠欄	

写真を貼る欄
○写真は，出願前3ヶ月以内に撮影した脱帽正面上半身(4㎝×3㎝)とします。 ○写真の裏に氏名を記入して貼付すること。

「一般，社会人，外国人留学生欄」（右上）は，該当する選抜に○をつけること。

(注) 経済システム教育研究領域を志願する者は，写真票の志望専攻欄に「志望するコース(経済学専修コース・政策評価実践コース)」も記入すること。

(注) ※印欄は，記入しないこと。

きりとらないこと

平成31年度
琉球大学大学院
人文社会科学研究科
（博士前期課程）3月募集

受験票

受験番号	※	一般，社会人 外国人留学生	
フリガナ		性別	
氏名	昭和・平成　年　月　日生	男・女	
志望専攻	（経済システム領域は、コース記入）		
受験科目	専門科目	外国語科目	日本語 共通

写真を貼る欄
○写真は，出願前3ヶ月以内に撮影した脱帽正面上半身(4㎝×3㎝)とします。 ○写真の裏に氏名を記入して貼付すること。

「一般，社会人，外国人留学生欄」（右上）は，該当する選抜に○をつけること。

(注) 経済システム教育研究領域を志願する者は，受験票の志望専攻欄に「志望するコース(経済学専修コース・政策評価実践コース)」も記入すること。

(注) ※印欄は，記入しないこと。

受　験　心　得

(1)　受験者は，試験開始 20 分前までに，各試験室前に集合すること。
(2)　試験開始後 30 分以上遅刻した者は，受験できません。
(3)　不正行為のあった者は，直ちに退場を命じます。
(4)　受験に際しては，本受験票を必ず持参すること。

試験日時及び試験場（博士前期課程）３月募集

期　日	科　目	時間	場　所	摘　要
平成 31 年 3 月 2 日 （土）	日本語共通試験	9：00 〜 10：40	文系講義棟	外国人留学生特別選抜の受験者のみ
	外国語科目	9：00 〜 10：40	〃	一般選抜の受験者のみ
	専門科目	11：10 〜 12：50	〃	全　員 ○実務法学教育研究領域を研究レポートで受験する者については，専門科目の時間に口頭試問と面接を行います。 ○経済システム教育研究領域を研究レポートで受験する者については，専門科目の時間に研究レポートについての面接を行います。
	面　接	14：30 〜	〃	全　員 ○ただし，実務法学教育研究領域及び経済システム教育研究領域を研究レポートで受験する者は除きます。 ○政策科学教育研究領域は，面接時に研究論文の内容についての口頭試問を行います。

研 究 計 画 概 要 （博士前期課程）３ 月 募 集

氏　　名		志願理由も含めて以下にまとめること。

琉球大学大学院人文社会科学研究科

＊この用紙を使用して作成すること。

プリンター等で印字する場合は文字の大きさを 10 ポイント以上で作成すること。

琉球大学大学院人文社会科学研究科

＊この用紙を使用して作成すること。

プリンター等で印字する場合は文字の大きさを 10 ポイント以上で作成すること。

業 績 報 告 書 （博士前期課程）３ 月 募 集

氏　　名		論文名及びその概要を以下にまとめること。

琉球大学大学院人文社会科学研究科

＊この用紙を使用して作成すること。

プリンター等で印字する場合は文字の大きさを 10 ポイント以上で作成すること。

琉球大学大学院人文社会科学研究科

＊この用紙を使用して作成すること。

プリンター等で印字する場合は文字の大きさを 10 ポイント以上で作成すること。

受験承諾書（博士前期課程）３月募集

平成　　年　　月　　日

琉球大学大学院人文社会科学研究科長　　殿

受験者の職名

氏名

上記の者が，貴大学院人文社会科学研究科を受験することを承諾します。

氏　　名　　印

本人との関係

事業所等名

現　住　所

電　話（　　）

日本語力調査書（博士前期課程）３月募集

志願者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　生年月日（西暦）　　年　　月　　日

志願者住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

志願者の母国語＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＊該当する事項の番号を○印で囲む。

Ⅰ　聴　解　力

１．理解できない。

２．ゆっくりはっきり話せば理解できる。

３．まあまあ理解できる。

４．じゅうぶん理解できる。

Ⅱ　会　話　力

１．少しも話せない。

２．意志の伝達はできる。

３．ある程度話せる。

４．すらすら話せる。

Ⅲ　読　解　力

１．全く理解できない。

２．やや理解できる。

３．おおよそ理解できる。

４．じゅうぶん理解できる。

Ⅳ　作　　文

１．全く書けない。

２．やさしい文章は書ける。

３．まとまった文章が書ける。

４．論理的な文章が書ける。

Ⅴ　所見（大学の講義をうける能力等，総合的な評価）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

以上のとおり調査報告します。

平成　　年　　月　　日

調査者勤務先＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

調査者職名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

調査者氏名（自署）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

注　この調査書は，高等学校又は大学において日本語を教授している者，政府又は公共団体の責任ある職員にあって日本語を十分理解できる者，若しくは各国在日本大使館員職員によるものでなければなりません。

平成　　年　　月　　日

琉球大学大学院 人文社会科学研究科長　殿

相　談　申　請　書（3月募集）

貴大学院人文社会科学研究科（博士前期課程）入学者選抜試験を
受験するに際して，下記のとおり相談を申請します。

記

1．志願者氏名（フリガナ）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

昭和・平成　　年　　月　　日生　　男・女

平成31年4月1日現在満　　歳

2．志望専攻：

3．出身学校名：

平成　　年　　月　　日　卒業・卒業見込

4．住所〒

電話（　　）　　―

5．障がいの程度：

6．受験上及び修学上希望する措置：

7．添付資料：診断書，身体障がい者手帳（写）

（出願資格個別審査用）

平成　　年　　月　　日

平成31年度　琉球大学大学院人文社会科学研究科［博士前期課程］
入　学　資　格　個　別　審　査　申　請　書（３月募集）

琉球大学大学院人文社会科学研究科長　　殿

私は，大学院入学資格の個別審査を受けたいので，申請します。

志望専攻・教育研究領域	専攻　　教育研究領域
フリガナ 氏名	印
フリガナ 現住所	〒　－ TEL（　　）　－
添付書類	①出願理由書（本学所定の用紙） ②経歴書（本学所定の用紙） ③最終学校の成績証明書 ④最終学校の卒業（修了）証明書又は在籍証明書 ⑤返信用封筒［長形３号，362円切手貼付］

（出願資格個別審査用）

平成　　年　　月　　日

平成31年度　琉球大学大学院人文社会科学研究科［博士前期課程］
出　願　理　由　書　（３月募集）

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

琉球大学大学院人文社会科学研究科［博士前期課程］＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿専攻への出願を下記理由により希望します。

記

※出願動機，入学後の研究計画等についての詳細を記載してください。

（出願資格個別審査用）

平成　　年　　月　　日

平成31年度　琉球大学大学院人文社会科学研究科［博士前期課程］
経　　歴　　書　（３月募集）

氏　　名　　印

性　　別　　男　・　女

生　年　月　日　昭和・平成　　年　　月　　日

最終学校（卒業・修了）年月

年　　月～　　年　　月	卒業・修了

上記卒業（修了）後の職歴（実務経験），学習歴及び活動歴がある場合は，年代順にその内容についても詳しく記入してください。

期間（　年　月～　年　月）	内　　容

東日本大震災及び熊本地震により被災した平成31年度琉球大学入学者選抜試験志願者の検定料に関する特例措置について（３月募集）

琉球大学では，平成31年度大学院入学者選抜に関して，被災者の経済的負担を軽減することにより，受験の機会を確保するため，以下のとおり特例措置を実施することとしましたのでお知らせします。

１．特例措置の対象

平成31年度大学院入試

２．措置内容

検定料の免除：30,000円

３．免除の対象者及び必要書類

対　象　者	必 要 書 類
①　東日本大震災及び熊本地震における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で，以下のいずれかに該当する者	
ア　主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊，大規模半壊，半壊，流失した場合	り災証明書
イ　主たる家計支持者が死亡，又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
② 居住地が福島第一原子力発電所事故により，帰還困難区域，居住制限区域及び避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

４．申請の方法

入 試 区 分	申 請 方 法
○大学院入試	本学所定の様式（検定料免除申請書）に，り災証明書等を添えて，出願書類とともに同封のうえ提出してください。 なお，申請する場合は，「検定料」を振り込まないでください。 また，すでに納付した検定料の返還を希望する場合は，本学所定の様式（返還金払戻請求書）に，り災証明書等を添えて人文社会学部学務係へ申請してください。 申請後，検定料を返還します。

※ 返還金払戻請求書の提出期限は，平成31年3月29日(金)までとします。

提出先：〒903－0213 沖縄県中頭郡西原町字千原１番地

国立大学法人琉球大学　人文社会学部学務係

電話（０９８）８９５－８１８８

検定料免除申請書（3月募集）

平成　　年　　月　　日

国立大学法人
　琉球大学長　殿

（請求者）
受付番号（大学側で記入）
入学者選抜試験の種類
　■大学院入試
出願研究科　琉球大学大学院　人文社会科学研究科
出 願 専 攻　　専攻

フ リ ガ ナ
志願者氏名　　印

住　　所

電　　話

平成２３年３月１１日に発生した東日本大震災及び平成２８年４月１４日に発生した熊本地震において，下記のとおり被災しましたので，り災証明書等を添付の上，検定料の免除を申請します。

記

被災状況（該当箇所にチェックしてください。）

□全壊　　□大規模半壊　　□半壊　　□流出
□学費負担者死亡又は行方不明
□福島第一原子力発電所事故による避難区域等

(記入上の注意)

この検定料免除申請書はコピーして使用してもかまいません。

平成　　年　　月　　日

返還金払戻請求書(3月試験)

国立大学法人
琉球大学長　　殿

請求者
〒
住　　所
フリガナ
氏　　名　　印
電話番号

私が平成　　年　　月　　日に納付した検定料　　円について，以下の理由により払い戻しを請求します。

1. 誤納
2. 出願辞退　※受験辞退ではなく、出願しなかった方が対象です。
3. 書類不備等による出願書類の不受理
4. 東日本大震災において被災
5. 熊本地震において被災
6. その他(　　)

次の銀行口座へ振り込んでください。

フリガナ			保護者名義の場合の続柄
口座名義			
取引金融機関名 本・支店名	銀　行	支　店	
預金種別	1　普　通　　2　当　座		
口座番号	(　店　番　) 　　－	(口座番号)	

預金種別欄は，該当項目番号を○で囲んでください。

[注意]
※ 請求者は志願者本人としてください。
※ 保護者等，請求者以外の口座名義を指定する場合は，続柄も記入してください。
※ ゆうちょ銀行口座へ振り込みを受ける場合は，振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が必要です。振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が分からない場合は口座を開設したゆうちょ銀行へご確認ください。
※ 封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください。
※ 返還には請求書受理後2～3ヶ月程度かかります。

送付先　〒903－0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
琉球大学財務部経理課収入・支出係
TEL:098－895－8058

取扱金融機関収納印が押印された
検定料納付証明書(大学用)
をこの枠内に貼り付けのうえ、ご提出ください。

※払戻理由のうち、4. 東日本大震災または5. 熊本地震において被災を選択された場合は貼り付け不要です。

※各金融機関備付の振込依頼書で振り込んだ場合は、受領書をご同封ください。

記入上の注意

○　**「検定料振込書」の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。《依頼日，入学志願者氏名（フリガナ），住所，振込先(枠内に○印)》**
○　必ず金融機関（銀行等）の窓口で振り込み，ＡＴＭ（現金自動預払機）は使用しないでください。
○　振込手数料については，志願者本人負担となります。
○　金融機関窓口から「検定料納付証明書**（大学用）**」を受け取る際は，取扱金融機関収納印を確認してください。
○　「検定料納付証明書**（大学用）**」は**出願書類に同封して提出**してください。

検　定　料　振　込　書

※人文社会科学研究科　博士前期課程　３月募集

（振込前に志願者で切離し）

検定料納付証明書 **（大学用）**

★出願書類に同封して提出下さい。

※依頼日	年　月　日
金額	¥30,000－
※振込先（いずれかの銀行に○をする）	琉球銀行宜野湾支店（普通） 428711 沖縄銀行我如古支店（普通） 1540366 沖縄海邦銀行真栄原支店（普通） 0563358 みずほ銀行那覇支店（普通） 1478859
※依頼人（志願者） ※募集区分	411
（フリガナ）	
氏名	

平成３１年度　琉球大学　検定料
人文社会科学研究科(博士前期課程)３月募集

取扱金融機関収納印

（取扱店→振込人→大学）

（大学提出時に切離し）

振込金（兼手数料）領収書

※依頼日	年　月　日	手数料
振込金額	¥3000円	
※振込先（いずれかの銀行に○をする）	琉球銀行宜野湾支店（普通） 428711 沖縄銀行我如古支店（普通） 1540366 沖縄海邦銀行真栄原支店（普通） 0563358 みずほ銀行那覇支店（普通） 1478859	
受取人口座名	国立大学法人 琉球大学	
※依頼人（志願者） （フリガナ）		
氏名		

平成３１年度　琉球大学　検定料
人文社会科学研究科(博士前期課程)３月募集

上記のとおり領収しました。

取扱金融機関収納印

（取扱店→振込人）

取扱店へのお願い
○太枠内を打電して下さい。
○募集区分、フリガナの順に打電して下さい。

（振込時金融機関で切離し）

振　込　依　頼　書　電信扱

勘定科目	

※依頼日	年　月　日	振込指定	電信扱	手数料	
※振込先（いずれかの銀行に○をする）	琉球銀行宜野湾支店（普通）	428711	金額		¥3000円
	沖縄銀行我如古支店（普通）	1540366	内訳 現金		
	沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358			
	みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859			
受取口座名人	ｺｸﾘﾂﾀﾞｲｶﾞｸﾎｳｼﾞﾝ　ﾘｭｳｷｭｳﾀﾞｲｶﾞｸ 国立大学法人 琉球大学				
※依頼人（志願者） ※募集区分	411	※フリガナ			
	※　氏　名				
	※（住所） （電話番号）				
備考	平成３１年度　琉球大学　検定料 人文社会科学研究科(博士前期課程)３月募集 【納入期間】 平成３１年１月２５日（金）から 平成３１年２月　８日（金）まで				

取扱金融機関収納印

（取扱店用）

志 願 者 整 理 票 【博士前期課程】3月募集

（注）この整理票は，シール式（太枠部分）になっているので，はがれないように取り扱うこと。

志願者氏名（　　）　楷書で枠からははみ出さないように記入してください。

受験番号 （記入しないこと）	志願者氏名 （下にフリガナをつけること。）	性別	出身学校が所在する都道府県又は国名	出身学校の名称 （下にフリガナをつけること。）
※				

合格通知書送付先（合格通知書送付先の郵便番号，住所，氏名を楷書で正確に取り扱うこと。団地の棟番号，戸番や下宿先の○○方なども必ず記入すること。）

（〒　　－　　）

住　所

氏　名　　殿

（受験番号※　　）

※　印欄は記入しないこと。

入学手続通知送付先

（〒　　－　　）

住　所

氏　名　　殿

（受験番号※　　）

※　印欄は記入しないこと。